

札幌トンネルなどの発生土受入地確保の難航

- 北海道には、自然由来重金属等を基準値以上に含む地層（対策土）が広く分布
- 対策土受入地の確保に時間を要したこと等による工事着手の遅れ等により、3年～3年半程度の遅延が発生
- 更に、地質不良による掘削速度の低下リスクや働き方改革の影響等もあり、掘削体制の拡充（2切羽施工や工区境の変更）や一部工事の省略等、現段階で予定している工程工夫策を実施しても更なる遅延要因の影響の一定程度の減殺に留まる見込み



学識経験者等の第三者による委員会での対策工等の検討



発生土受入地

